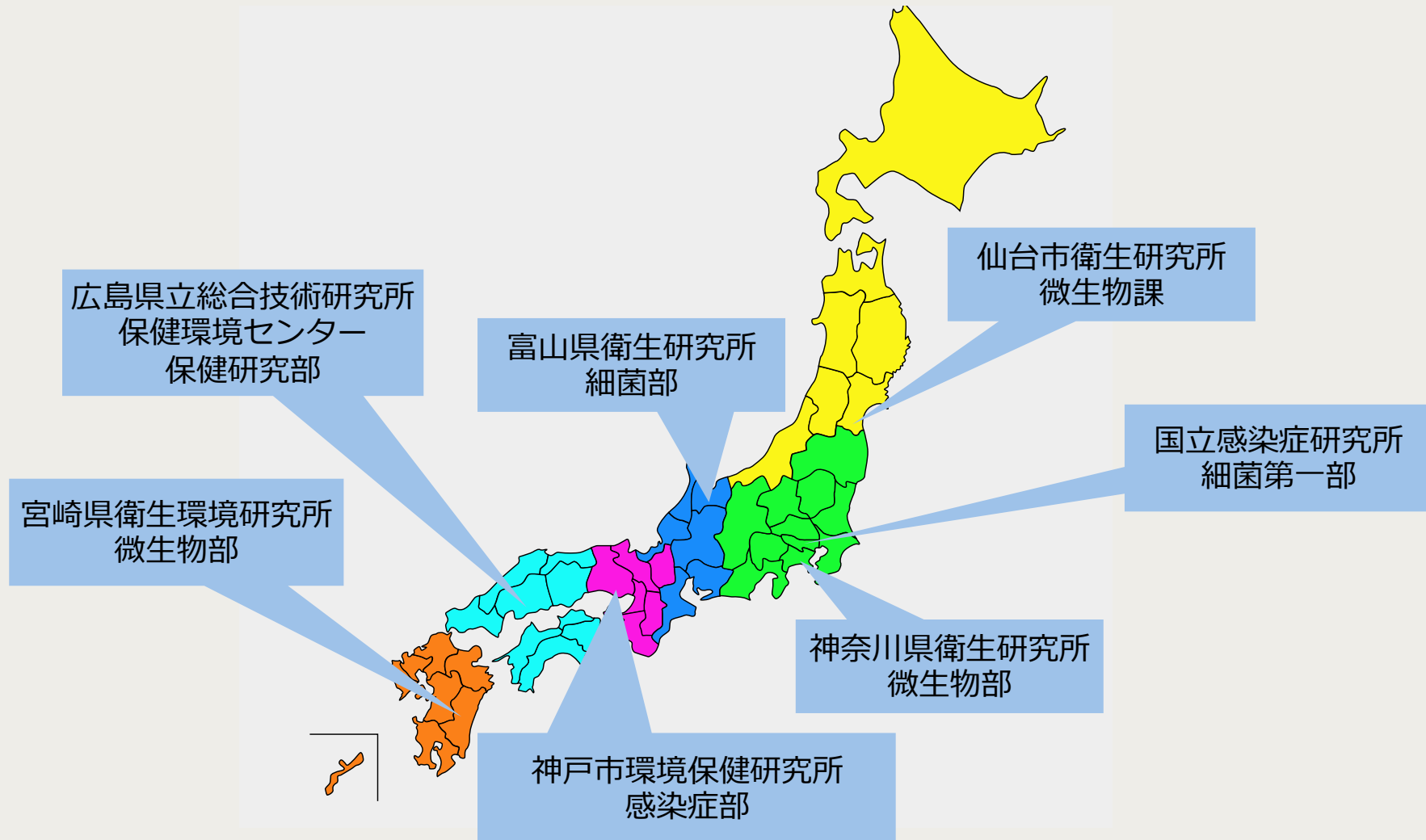


レジオネラ・レファレンスセンター会議

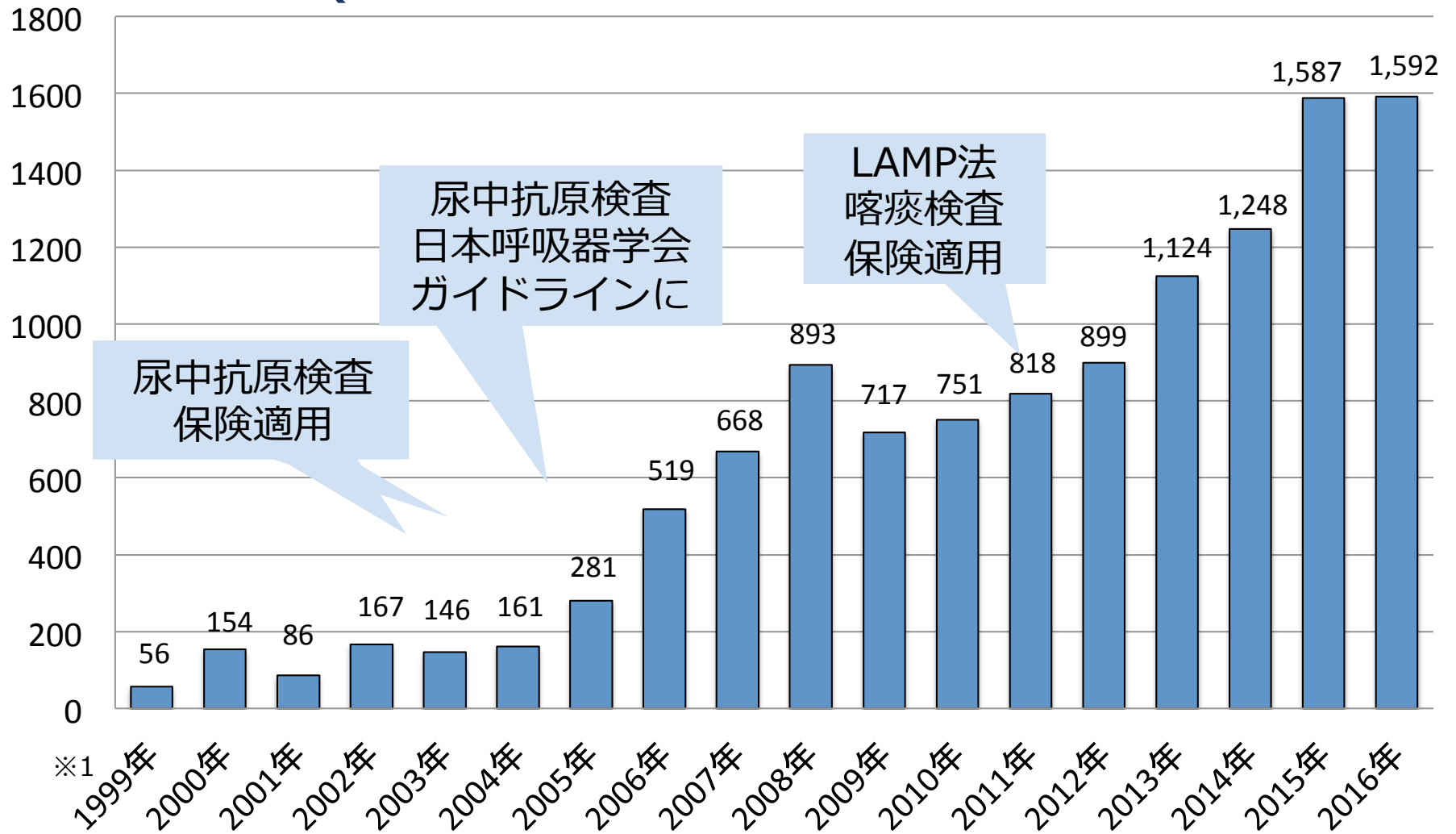


衛生微生物技術協議会第38回研究会
平成29年6月27日 タワーホール船堀

年別レジオネラ症報告数

(感染症発生動向調査)

(報告数)



※1：1999年の報告数は4～12月までの数値である。

国内集団感染事例一覧 (1/2)

年月	感染源	地域	確定患者数	死亡者数
1980.8-9	不明 (病院)	福岡県	7	
1990.12	不明 (老人ホーム)	長崎県	3	
1994.8	冷却塔 (研修所)	東京都	1*	
1996.1-2	給湯設備、加湿器 (新生児病棟)	東京都	4	1
1996.6	温泉	岩手県	3	1
1998.5	入浴施設 (特別養護老人ホーム)	東京都	12	1
2000.1	加湿器 (新生児病棟)	広島県	2	1
2000.2	温泉	静岡県	2	
2000.3	温泉 (オープン直後)	静岡県	23	2
2000.4	温泉	山形県	3	
2000.6	公衆浴場 (オープン直後)	茨城県	27	3
2002.4-7	不明 (乳児院)	福島県	8	
2002.7	温泉 (オープン直後)	宮崎県	46	7
2002.7	温泉	山形県	2	
2002.8	温泉 (オープン直後)	鹿児島県	9	1
2003.1	循環式浴槽 (客船)	客船	3	
2003.11	冷却塔 (清掃工場)	京都府	2	
2006.12	入浴施設 (フィットネスクラブ)	新潟県	2	

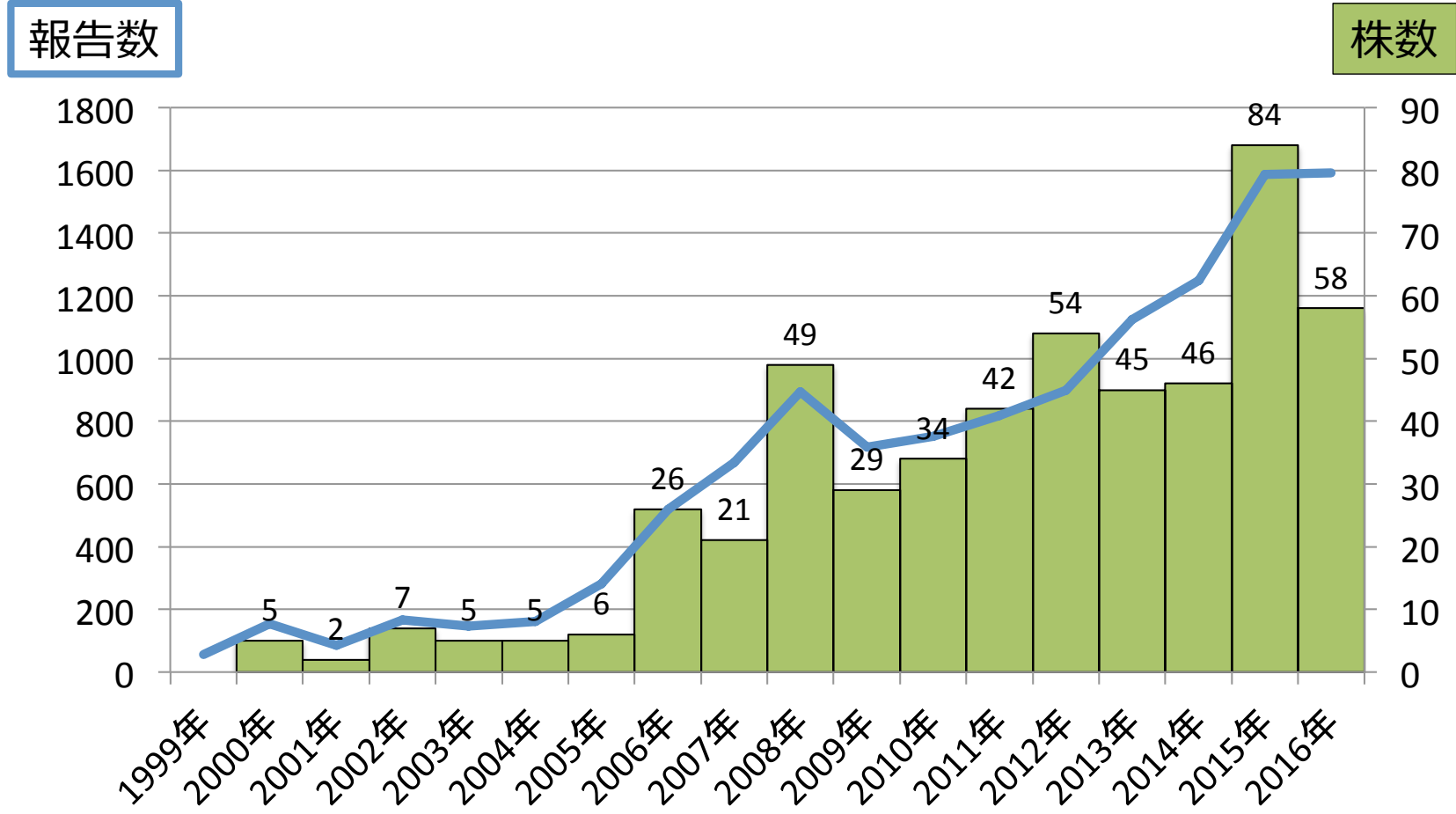
* ポンティアック熱、他に確定でない患者数: 44

国内集団感染事例一覧 (2/2)

年月	感染源	地域	確定患者数	死亡者数
2008.1	公衆浴場	兵庫県	2	
2008.2	公衆浴場	神奈川県	3	
2008.7	入浴設備（推定、高齢者福祉施設）	岡山県	2	
2009.9-10	温泉（ホテル）	岐阜県	8	
2011.8-9	温泉（スポーツジム）	神奈川県	9	
2012.11	温泉	山形県	3	1
2012.11-12	温泉	埼玉県	9	
2013.4	循環式浴槽（高齢者福祉施設）	宮崎県	2	
2014.5	温泉	埼玉県	3	1
2014.8	温泉	静岡県	8	
2015.5	公衆浴場（オープン直後）	岩手県	13	1
2015.5-6	温泉	神奈川県	7	
2017.3	温泉	広島県	58	1

確定患者数では過去最大

分離年別 収集レジオネラ臨床分離株



レジオネラ・レファレンスセンターにおいて、
2007年8月よりレジオネラ臨床分離株の収集を行っている。
2016年度は76株受付。

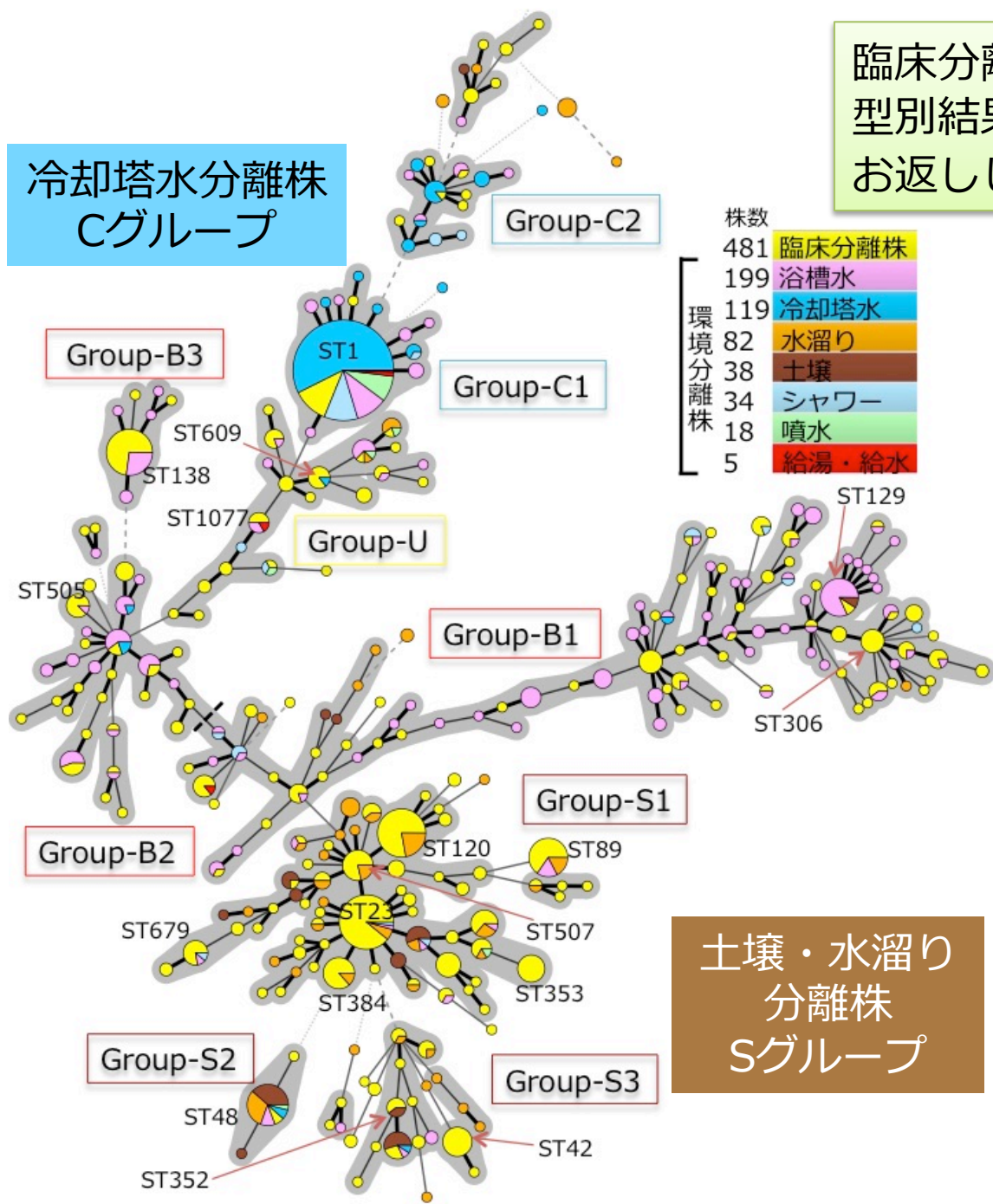
収集臨床分離株の内訳

2017年3月末日現在

<i>L. pneumophila</i> 375株 (97.9%)		<i>L. bozemanae</i> 1株 (0.2%)
SG1 458株 (86.7%)	SG9 6株 (1.1%)	<i>L. dumoffii</i> 1株 (0.2%)
SG2 9株 (1.7%)	SG10 3株 (0.6%)	<i>L. feeleii</i> 1株 (0.2%)
SG3 14株 (2.7%)	SG12 2株 (0.4%)	<i>L. londiniensis</i> 1株 (0.2%)
SG4 3株 (0.6%)	SG13 2株 (0.4%)	<i>L. longbeachae</i> 6株 (1.1%)
SG5 8株 (1.5%)	SG14 1株 (0.2%)	<i>L. rubrilucens</i> 1株 (0.2%)
SG6 8株 (1.5%)	SG15 1株 (0.2%)	
SG8 1株 (0.2%)	UT* 1株 (0.2%)	
*デンカ生研レジオネラ免疫血清ニューモフィラ1-15群のいずれにも反応しなかった。		計 528株 (100%)

国内で分離された*L. pneumophila* 血清群1 (976株) の minimum spanning tree 図

臨床分離株の遺伝子型別結果を図示してお返ししています。



冷却塔水分離株
Cグループ

浴槽水分離株
Bグループ

土壌・水溜り
分離株
Sグループ

2017年5月 水検体のレジオネラ検査法

ISO 11731の改訂

浴槽水は？

水道水

冷却水

工業排水

- 手順の選択1：雑菌が少ない、多い、極めて多い
- 手順の選択2：非濃縮、フィルター貼付、ろ過濃縮
- 手順の選択3：未処理、熱処理、酸処理、熱/酸処理
- 手順の選択4：非選択培地、選択培地、高度選択培地

→ 場合により培地を2～3枚使用

2017年5月 水検体のレジオネラ検査法

ISO 11731の改訂

- 手順の選択1：**雑菌が少ない**、多い、極めて多い
と考えられる場合は...
例えば
- 手順の選択2：非濃縮、フィルター貼付、**ろ過濃縮**
- 手順の選択3：**未処理**、**熱処理**、**酸処理**、熱/酸処理
いずれか
- 手順の選択4：**非選択培地**、**選択培地**、**高度選択培地**
両方
→ 培地を2枚使用

2017年5月 水検体のレジオネラ検査法

ISO 11731の改訂

- 手順の選択1 : 雑菌が**少ない**、**多い**、極めて多い
場合は... 通常は
- 手順の選択2 : **非濃縮**、フィルター貼付、**ろ過濃縮**
いずれか あるいは**10倍希釈**
- 手順の選択3 : **未処理**、**熱処理**、**酸処理**、熱/酸処理
すべて
- 手順の選択4 : 非選択培地、選択培地、**高度選択培地**

→ 培地を3枚使用

レジオネラ検査実施状況調査

今年2月にレジオネラレファレンスセンター
支部で調査、集約。

結果

- ◆ 保健所：87/481で実施。（広域58、市29）
- ◆ 地方衛生研究所：80/82で実施。

環境水のレジオネラ行政検査に重要な役割

レジオネラ検査実施状況調査

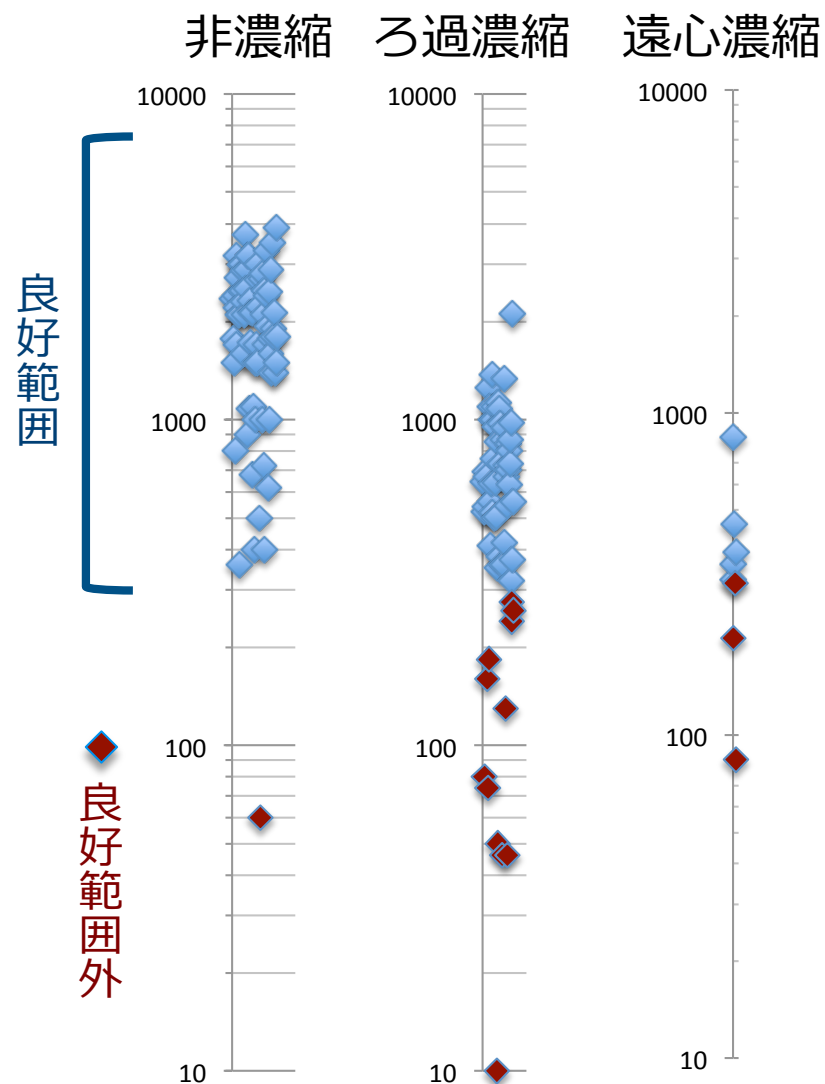
結果

- ◆ 保健所：87/481で実施。（広域58、市29）
 - 全保健所で実施：山形県、新潟県、
富山県、高知県
 - 一部保健所で実施：10道府県
 - 73市：29市、29保健所で実施
 - 今後実施が1市
 - 30市は衛研で実施
 - 7市は委託
 - (不明6)

2016年度外部精度管理

<地衛研の結果>

- 参加機関：71地衛研
(サーベイ全体では165機関)



良好範囲
300-7800 CFU/100mL

研修の必要性

良好範囲 機関割合	2016年	2015年
非濃縮	66/70 (94%)	(91%)
ろ過濃縮	47/61 (77%)	(62%)
遠心濃縮	5/9 (56%)	(36%)

2017年度外部精度管理実施予定

－実施母体：日水製薬－

今年もレジオネラレファレンスセンターを通じて
参加を募集します。

日 程	内 容
8月上旬	参加募集開始
9月29日(金)	参加募集締切
10月16日(月)	試料発送
10月31日(火)	請求書発送
10月17日(火)～11月17日(金)	検査実施
11月17日(金)17時	回答締切
12月31日(日)	参加日お支払期限
1月31日(水)	解析結果返却